

会頭就任挨拶



静岡商工会議所
会頭
後藤康雄
はごろもフーズ(株)
代表取締役会長

このたび、皆様方の温かいご推挙によりまして、静岡商工会議所会頭に就任いたしました後藤でございます。

全国で10番目の会員規模を誇る商工会議所の会頭に選任いただきましてことは、身に余る光栄であるとともに、現下の厳しい経済環境のもと商工会議所に課せられた責務の重さを痛感している次第であります。

皆様ご承知のとおり、この新静岡商工会議所は、長い歴史と伝統をもつ旧静岡と旧清水が長期的発展を遂げるべく一致団結して二度解散をした上で、本年4月に新しく設立されたものであり、この形式による合併は現在の商工会議所法のもとでは全国で初めてのものです。

全国屈指の商店街を抱える商業のまち「静岡」と港湾を中心とした国際物流と工業のまち「清水」のお互いの長所を活かし、あるいは融合させることによって合併効果を高めていくことが私に課せられた当面の使命であると思っております。

今後、あらゆる事業を通して会員の皆様に合併の効果を享受していただけるよう専心努力してまいりますので、改めて皆様方のご支援をお願い申し上げます。



げる次第です。

さて、最近のわが国経済は、円高の影響や政策効果・猛暑効果の一巡などにより、その先行きに対する不透明感が強まっております。

このような環境のもと、わが国経済の持続的な発展を実現するためには、地域企業の底上げが図られ、挑戦する意欲と能力のある地域企業が自らの力を発揮できる環境を整備することが不可欠です。

当会議所は、地域経済の源泉である「創造型かつ挑戦型地域企業の育成・支援」を重点施策の二つに定め、創業・経営革新・販路開拓・人材育成など地域企業が抱える様々な課題に対し、ワンストップで、また気軽に相談ができるサポート体制を強化するほか、地域企業の国際化、新産業の創出、あるいは環境対策などにも積極的な支援を行いたいと考えており、こうした支援を通じて活気に満ちた、また個性溢れる都市づくりを目指してまいります。

また、当会議所は会員の皆様の声に耳を傾け、地域の総合経済団体として政策提言を行う一方、静岡市とともに産業のブランド化やシティプロモーションの推進を行うなど、両輪となって地域経済の活性化を目指してまいりたいと考えております。

このように地域経済の活性化を実現するための様々な方策を内外に明確に示すため、現在当会議所では平成23年4月から3カ年の「中期行動計画」を初めて策定しているところであります。

以上、静岡商工会議所は、政令指定都市の商工会議所として、また県中部地域経済の推進役として、より充実した機能と質の高いサービスの提供を行い、会員相互の交流を二層活発にし、会員の皆様から真に「頼りにされる商工会議所」となるべく組織をあげて努力してまいる所存でございます。

会員の皆様には、今後より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。会頭就任のご挨拶とさせていただきます。

